

DI ニュース

(Drug Information News)
NO. 293
2009年5月
徳山医師会病院 薬局
TEL:0834-31-7716
FAX:0834-32-5349
e-mail:yaku@tokuyamaishikai.com

薬局ホームページアドレス <http://www.tokuyamaishikai.com/yaku/index.htm>

1. お知らせ

ガスモチン錠5mg(大日本住友)の【効能・効果】、効能・効果に関連する使用上の注意、【用法・用量】、用法・用量に関連する使用上の注意が追加されました。(下線部——追記箇所)

【効能・効果】 慢性胃炎に伴う消化器症状(胸やけ,悪心・嘔吐)
経口腸管洗浄剤によるバリウム注腸X線造影検査前処置の補助

~効能・効果に関連する使用上の注意~

<経口腸管洗浄剤によるバリウム注腸X線造影検査前処置の補助の場合>

塩化ナトリウム,塩化カリウム,炭酸水素ナトリウムおよび無水硫酸ナトリウム含有経口腸管洗浄剤(ニフレック内用)以外の経口腸管洗浄剤との併用による臨床試験は実施されていない。

【用法・用量】 慢性胃炎に伴う消化器症状(胸やけ,悪心・嘔吐)
通常,成人には,モサプリドクエン酸塩として1日15mgを3回に分けて食前または食後に経口投与する。
経口腸管洗浄剤によるバリウム注腸X線造影検査前処置の補助
通常,成人には,経口腸管洗浄剤の投与開始時にモサプリドクエン酸塩として20mgを経口腸管洗浄剤(約180mL)で経口投与する。また,経口腸管洗浄剤投与終了後,モサプリドクエン酸塩として20mgを少量の水で経口投与する。

~用法・用量に関連する使用上の注意~

<経口腸管洗浄剤によるバリウム注腸X線造影検査前処置の補助の場合>

経口腸管洗浄剤の「用法・用量」および「用法・用量に関連する使用上の注意」を必ず確認すること。

ニフレック内用(味の素ファルマ)の【効能・効果】、【用法・用量】、用法・用量に関連する使用上の注意が追加されました。(下線部——追記箇所)

【効能・効果】大腸内視鏡検査、バリウム注腸X線造影検査及び大腸手術時の前処置における腸管内容物の排除

【用法・用量】本品1袋を水に溶解して約2Lとし、溶解液とする。
通常,成人には,1回溶解液2~4Lを1時間あたり約1Lの速度で経口投与する。ただし,排泄液が透明になった時点で投与を終了し,4Lを超えての投与は行わない。
大腸内視鏡検査前処置

1)検査当日に投与する場合

当日の朝食は絶食(水分摂取のみ可)とし,検査開始予定時間の約4時間前から投与を開始する。

2)検査前日に投与する場合

前日の夕食後は絶食(水分摂取のみ可)とし,夕食後約1時間以上経過した後,投与を開始する。ただし,前日の朝食,昼食は残渣の少ないもの,夕食は固形物の入っていない液状食とする。

バリウム注腸X線造影検査前処置

検査当日の朝は絶食(水分摂取のみ可)とし,検査開始予定時間の約6時間前から投与を開始する。通常,成人には,溶解液の投与開始時にモサプリドクエン酸塩として20mgを溶解液(約180mL)で経口投与する。また,溶解液投与終了後,モサプリドクエン酸塩として20mgを少量の水で経口投与する。

大腸手術前処置

手術前日の昼食後は絶食（水分摂取のみ可）とし、昼食後約3時間以上経過した後、投与を開始する。

～用法及び用量に関連する使用上の注意～

排便、腹痛等の状況を確認しながら慎重に投与すること。

約1Lを投与しても排便がない場合には、腹痛、嘔気、嘔吐のないことを必ず確認したうえで投与を継続し、排便が認められるまで十分観察すること。2Lを投与しても排便がない場合は投与を中断し、腹痛、嘔吐等がないことを確認するとともに、腹部の診察や画像検査（単純X線、超音波、CT等）を行い、投与継続の可否について、慎重に検討すること。

また、高齢者では特に時間をかけて投与すること。

本剤をバリウム注腸X線造影検査に用いる際には、2回目のモサプリドクエン酸塩水和物を投与した後はバリウム注腸X線造影検査までは飲食物の摂取を行わないこと。

ジフルカンカプセル100mg（ファイザー）の【効能・効果】、【用法・用量】が一部削除されました。（二重線部＝削除箇所）

【効能・効果】カンジダ属、クリプトコッカス属及びアスペルギルス属による下記感染症
真菌血症、呼吸器真菌症、消化管真菌症、尿路真菌症、真菌髄膜炎

【用法・用量】カンジダ症

通常、成人にはフルコナゾールとして50～100mgを1日1回経口投与する。

クリプトコッカス症、アスペルギルス症

通常、成人にはフルコナゾールとして50～200mgを1日1回経口投与する。

なお、重症又は難治性真菌感染症の場合には、1日量として400mgまで増量できる。

2．Q & A コーナー

エピレナートシロップとアレビアチンではどちらが傾眠が強いのか？
エピレナートシロップの方は副作用として傾眠の報告がある。

ソセゴン注（ペンタジン注と同一）を施行後安静は必要か？
眠気、ふらつき等あるので必要。外来の場合は安静にしてから帰宅させる。

3．豚インフルエンザ

現在、世界各国で新型インフルエンザが流行しており、日本でも発症が数例確認されています。今回は豚インフルエンザについてのQ & Aを抜粋してみたいと思います。

豚インフルエンザとは？

A型インフルエンザ(H1N1)ウイルスにより引き起こされる豚の呼吸器疾患です。豚インフルエンザの流行は豚で定期的に発生します。ヒトは普通、豚インフルエンザにはかかりませんが、ヒトの感染は起こりうるし、実際に感染者が出ています。ヒトの感染ケースは、豚が周りにいるヒトたちに多いのですが、豚インフルエンザウイルスがヒトからヒトへ伝染する可能性もありえます。

人ではH1N1(豚インフルエンザ)はどのような徴候や症状がみられるのですか？

ヒトのH1N1(豚インフルエンザ)の症状は冬に流行するヒトインフルエンザの症状と同じで、発熱、咳、のどの痛み、体の節々の痛み、頭痛、悪寒、疲労などがみられます。H1N1(豚インフルエンザ)が原因で下痢やおう吐のあったヒトもいます。過去にはヒトがH1N1(豚インフルエンザ)に感染して重い疾患(肺炎や呼吸不全)にかかったり死亡したという報告もあります。冬に流行するインフルエンザのように、H1N1(豚インフルエンザ)は元からある慢性疾患の悪化を招くこともあります。

豚インフルエンザはどのようにして感染するのですか？

豚インフルエンザは2つの方法で伝染します

感染した豚との接触または豚インフルエンザウイルスに汚染された環境にさらされること
豚インフルエンザに感染したヒトとの接触。豚インフルエンザのヒト-ヒト間の伝染も報告されており、冬に流行するインフルエンザと同じように伝染すると考えられています。つまり、主に感染したヒトの咳やくしゃみを通じてヒトからヒトへ伝染すると考えられています。

豚インフルエンザを治療する薬はあるのですか？

CDCはこうした豚インフルエンザウイルスの感染に対する治療と予防に、タミフル（オセルタミビル）またはリレンザ（ザナミビル）の使用を推奨しています。

豚インフルエンザから体を守るためのワクチンは現在のところありません。

豚インフルエンザに感染したヒトが他のヒトに感染させる可能性のある期間はどのくらいですか？

豚インフルエンザウイルスに感染したヒトは、症状がある間はヒトに感染させる可能性があると考えられるべきで、発症から最高7日までその可能性があります。子供、特に幼児ではさらに長い期間である可能性があります。

発症したらどうすればよいですか？

症状があれば、できるだけ他人との接触を避け、他人に感染させないように外出は控えるべきです。

発症して次のような重症徴候があれば救急外来を受診すべきです。

小児では、緊急受診が必要になる重症徴候には次のものがあります

速い呼吸あるいは呼吸困難がある

皮膚の色が青みがかっている

水分を十分飲まない

目が覚めない、または呼びかけに反応しない

機嫌が非常に悪く、抱かれることも嫌がる

インフルエンザのような症状が良くなった後も、発熱や咳が再び悪化する

発疹を伴った発熱がある

成人では、緊急受診が必要となる重症徴候には次のものがあります

呼吸困難あるいは息切れがある

胸部や腹部に痛みあるいは圧迫感がある

突然のめまいがある

錯乱状態になる

重度のまたは持続的嘔吐がある

豚肉を食べたり調理することによって豚インフルエンザにかかりますか？

豚インフルエンザウイルスは食物を通して伝染しません。豚肉を食べたり、豚肉から作られたものを食べて豚インフルエンザにかかることはありません。適切に処理され調理された豚肉の製品は食べても安全です。

参照：日本旅行医学会